

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号456

発生場所	その他	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所（その他）放射線科CT室		なし	C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
関連したもの	ドア	発生内容の分類	
		挟み込み	

発生内容

ドアノブと壁に挟まれ骨折。

概要

CT検査の患者に付き添っていた看護師が、CT終了後に出入り口のドアを開けたところ、重いドアが勢いよく開いてしまい、手を放す間もなく、ドアノブと壁に指を挟まれ右手の第5指を骨折した。事故後、現場を確認すると、壁にはドアノブが当たって付いたと思われる傷が複数あった。また、複数の職員が以前から危険だと感じていたが、どこにも報告されていなかった。

要因

- ・床にある戸当たりが、以前から破損していた。
- ・ドアクローザーが付いていなかった。
- ・放射線科撮影室のドアが重かった。
- ・CT室の出入り口が引き戸ではなく開き戸だった。

対策

- ・戸当たりを交換し、ドアノブと壁の隙間を6cmにした。
- ・ドアノブ付近に注意喚起の貼り紙をした。
- ・職員に事例を周知し、職員がドアを開閉することにした。

参照

